



野木小だより

平成28年10月18日

— 第8号 —

野木町立野木小学校長

江田 裕之

本校の「学力向上」への取組



「自分に自信を、学校や地域に誇りを持てる子どもを育てる学校づくり」を進めたいと考えます。自分に自信を持てるためには、子どもたち一人一人に学力をつけてあげることです。子どもたちは、分かりたい、できるようにになりたいと誰もが願っているからです。



これからは、「コロンブスがアメリカ大陸を発見した後、人々の世界観はどう変わったか」など、身につけた知識を使ったり、人と討論したりして自分の考えをまとめていく学力が求められています。

「学力をつける」「学力を向上させる」と言いますが、「学力」とは何ですか？



本校の子どもたちに「身につけさせたい力」とはどんな力ですか？



本校では、子どもたちがすでに持っており、教育活動を通して育てたい力を4つ示しています。

◇自分発見力 ◇規範意識
◇人間関係力 ◇学ぶ意欲 です。
これらの力は、学力の根となるものです。学力を支える力とも言えます。子どもたちの学力の根を育てることが、本校教育の目指す方向です。



法律には、「学力」の3つの要素が示されています。

- ①基礎的・基本的な知識・技能
- ②課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
- ③主体的に学習に取り組む態度



これからの時代を生きていく子どもたちに求められているのは、どのような学力なのですか？



なぜ、本校では、これらの力を「身につけさせたい力」としたのですか？



過去10年間に実施された全国学力調査から、本校の学力を分析してみました。これらの4つの力と学力との間に関係があることが分かりました。4つの力を見取る質問内容をそれぞれ4項目ずつ選び出し（1項目につき満点が4点）、回答する子どもたちの平均点の合計が14.0ポイントを超えている年度は得点も高いという結果となっていました。では、今年度の結果を基にご説明します。



これからの社会を生きていく子どもたちに必要な学力の考え方が大きく変わり、思考力・判断力・表現力等が求められています。全国学力調査の「B問題」は、これらの力が身についているかどうかを問う問題です。以前は、「アメリカ大陸を発見したのは誰か」、「コロンブスがアメリカ大陸を発見したのは何年か」など、知識をどれだけ身につけているかが重要視される学力が求められていました。



本校の「学力調査」の結果

4月19日(火)、6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」、4・5年生を対象に「とちぎっ子学習状況調査」を実施し、本校の結果は以下の通りです。

【4年生】

国語は、県平均をやや下回っています。
算数は、県平均と同等です。
理科は、県平均と同等です。

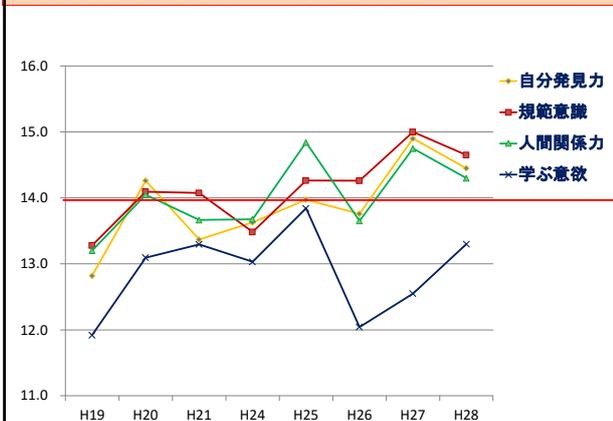
【5年生】

国語は、県平均を大きく上回っています。
算数は、県平均を大きく上回っています。
理科は、県平均を大きく上回っています。
*昨年度の4年生時の結果と今年度の結果を比較しても、すべての教科で正答率は向上しています。

【6年生】

国語A問題は、全国平均をやや下回っており、B問題は、全国平均を大きく上回っています。
算数は、A問題、B問題とも全国平均をやや上回っています。

全国学力・学習状況調査質問紙から見た育てたい4つの力



自分発見力

「自分にはよいところがある、最後までやり遂げてうれしい、将来の夢や目標がある」
◇すべての学年とも良好な状態です。

規範意識

「朝食、就寝時刻、学校のきまり、いじめ」
◇5・6年生は良好な状態です。4年生は、朝食と就寝時刻は課題となっています。

人間関係力

「みんなでやり遂げたことはうれしい、地域行事への参加、人の気持ちが分かる、人の役に立ちたい」

◇5・6年生は良好な状態です。4年生は、協力や貢献は、やや課題となっています。

学ぶ意欲

「家で宿題、読書、国語・算数は好き」
◇すべての学年で「読書」が課題となっています。

「自分っていいな」と思える自尊感情を育む取組、思いやりの心を育てる集団づくり、分かる授業、異年齢集団活動を通し責任感を育むこと、家読のすすめなど、これまでの積み重ねにより4つの「育てたい力」は少しずつではありますが高まってきています。バランスよく高めるという点において、「学ぶ意欲」は課題です。授業や朝の学習を通して学ぶ喜びを味わわせたり、読書の楽しさを実感させたりすることを、保護者の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思えます。



本校の「体力」調査の結果

全国体力・運動能力調査は、毎年実施しています。

「指標は、総合判定A及びBの割合が35%」です。

今年度の結果は、41%で目標を達成しています。

女子は、握力、立ち幅跳び、長座体前屈が課題です。男子は、反復横跳び、シャトルラン以外の種目は課題となっています。

健康づくりは、早寝早起き、朝ごはんをはじめとする生活習慣と毎朝のランニング、朝の活動での体力づくりサーキットから始まります。ぜひ励ましてください。

